

# Mizuho Daily Market Report

2023/11/1

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	150.25	151.68	+2.58	+1.77
EUR	1.0622	1.0575	▲0.0040	▲0.0015
AUD	0.6360	0.6337	▲0.0037	▲0.0018
SGD	1.3662	1.3697	+0.0054	+0.0012
CNY	7.3183	7.3164	+0.0054	+0.0053
MYR	4.7648	4.7632	▲0.0003	▲0.0223
THB	35.94	35.94	▲0.02	▲0.23
IDR	15885	15885	▲5	+35
PHP	56.74	56.73	▲0.23	▲0.04
INR	83.25	83.26	+0.00	+0.06
VND	24565	24565	▲2	+4

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.931%	+3.7 bp	+10.8 bp
日本(10年)	0.947%	+5.5 bp	+9.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.806%	▲1.6 bp	▲2.2 bp
オーストラリア(5年)	4.539%	+4.2 bp	+24.4 bp
シンガポール(5年)	3.284%	▲0.2 bp	+1.5 bp
中国(5年)	2.538%	▲1.6 bp	▲6.2 bp
マレーシア(5年)	3.890%	+0.0 bp	+5.7 bp
タイ(5年)	2.889%	▲1.3 bp	▲7.5 bp
インドネシア(5年)	7.045%	▲3.7 bp	▲10.9 bp
フィリピン(5年)	6.646%	▲2.2 bp	+21.5 bp
インド(5年)	7.345%	▲1.6 bp	▲2.6 bp
ベトナム(5年)	2.000%	+0.0 bp	+0.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,052.87	+0.4%	▲0.3%
N225(日本)	30,858.85	+0.5%	▲0.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,061.12	+0.8%	▲0.1%
ASX(オーストラリア)	3,954.35	▲0.0%	▲0.7%
FTSTI(シンガポール)	3,067.74	+0.1%	▲0.5%
SSEC(中国)	3,018.77	▲0.1%	+1.9%
KLSE(マレーシア)	63,874.93	▲0.4%	▲1.1%
SETI(タイ)	6,752.21	+0.2%	▲0.8%
JKSE(インドネシア)	1,442.14	+0.2%	+0.5%
PSE(フィリピン)	5,973.78	+0.2%	▲1.1%
SENSEX(インド)	1,381.83	▲1.0%	▲0.7%
VNINDEX(ベトナム)	1,028.19	▲1.4%	▲7.0%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	281.15	+0.1%	▲0.2%
金	1,983.88	▲0.6%	+0.7%
原油(WTI)	81.02	▲1.6%	▲3.2%
銅	8,029.00	▲0.5%	+0.6%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	150.30	—	152.00
EUR/USD	1.0470	—	1.0700
AUD/USD	0.6250	—	0.6460
USD/SGD	1.3600	—	1.3770
USD/CNY	7.2850	—	7.3380
USD/INR	4.7120	—	4.8380
USD/THB	36.00	—	37.20
USD/IDR	15830	—	15970
USD/PHP	56.50	—	57.00
USD/INR	83.00	—	83.45
USD/VND	24,300	—	24,700

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel. 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は149円台前半でオープン。前日のYCC再修正報道を受けた下落が一巡し、月末のドル買い需要もあって東京仲値にかけてはドル買い優勢の展開。正午過ぎに日銀が会合結果を発表しYCC再修正が明らかになるも、市場の想定に比べてハト派的な内容に留まったとの受け止めから150円台前半まで急伸。そのまま、150円台前半で海外時間に渡った。  
アジア通貨ははまちまち。今週、公表される米連邦公開市場委員会(FOMC)の政策決定に注目が集まっており、イベントを前に方向感にかける値動きとなっている。

海外市場のドル円は円売りの流れが続き、150円台後半でNYオープン。NY朝方は米第3四半期雇用コスト指数が予想を上回り、ドル高基調が続き、151円に乗せる。続いて発表された米10月コア・レスポード消費者信頼感指数も予想を上回る結果を受け、ドル買いが強まり、151円台後半まで続伸。午後はドル買い一巡となり、一時151円付近まで反落するも、その後じりじりと切り返し、終盤には再び151円台後半まで上昇し、そのままクローズ。

## 【金利】

米債市場は前日比上昇して終了。朝方までは日銀会合結果や弱めの独小売売上高を受けて米金利は低下するも、米3Q雇用コスト指数や10月消費者信頼感指数が予想比では強めの結果となったことから短期主導で売り優勢となり金利は上昇。

## 【予想】

本日は底堅い展開を予想。昨日の日銀金融政策決定会合を受け、円売り地合いは継続。一方で、神田財務官からは足元での値動きを受け、「より高い、緊張感の状況になっている」と述べるなど、介入牽制発言は一段強まった感がある。そのため、引き続き、円安地合いが予想されるものの、介入を意識した値動きが続くものと思われる。

## 【本日の予定】

(日本) 10月 製造業PMI(確)  
(アジア) 10月 マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、インド PM製造業  
(アジア) 10月 インドネシア CPI  
(アジア) 10月 豪 PM製造業(確)  
(アジア) 9月 豪 住宅建設許可件数 / 民間部門住宅  
(アジア) 休場 フィリピン  
(欧州) 10月 伊 新車登録台数  
(欧州) 10月 伊 財政収支  
(欧州) 10月 英 製造業PMI(確)  
(欧州) 休場 ハンガリー、ポーランド  
(欧州) 独 国債入札(7Y)  
(米国) 10月 ADP雇用統計  
(米国) 10月 ISM製造業景況指数  
(米国) 10月 ワース 自動車販売台数合計  
(米国) 10月 製造業PMI(確)  
(米国) 9月 建設支出 / JOLT求人  
(米国) FOMC  
(米国) MBA住宅ローン申請指数  
(米国) ハウエルFRB議長会見

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。